

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年3月17日(2011.3.17)

【公表番号】特表2010-519230(P2010-519230A)

【公表日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【年通号数】公開・登録公報2010-022

【出願番号】特願2009-550227(P2009-550227)

【国際特許分類】

C 0 7 D 471/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/506 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 471/04 1 0 4 Z

C 0 7 D 471/04 C S P

A 6 1 K 31/506

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/04

A 6 1 P 31/18

A 6 1 P 35/02

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

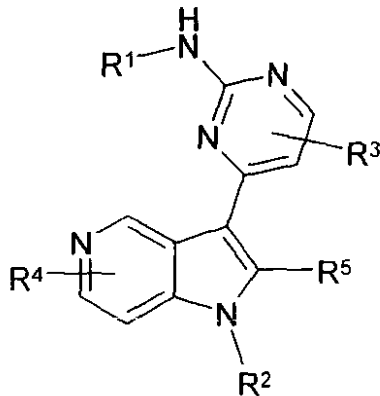
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

式 I

【化 1】



I

式中、

R^1 は、H、A、 $-[C(R^6)_2]_n Ar$ 、 $-[C(R^6)_2]_n Het$ または $-[C(R^6)_2]_n$ シクロアルキルを示し、

R^2 は、H または A を示し、

R^3 、 R^4 は、各々、互いに独立して、H、A、Hal、CN、 $-[C(R^6)_2]_n Ar$ 、 $-[C(R^6)_2]_n Het$ または $-[C(R^6)_2]_n$ シクロアルキルを示し、

R^5 は、H、A、 $-[C(R^6)_2]_n Ar$ 、 $-[C(R^6)_2]_n Het$ または $-[C(R^6)_2]_n$ シクロアルキルを示し、

R^6 は、H または 1～6 個の C 原子を有するアルキルを示し、

A、A' は、各々、互いに独立して、1 つまたは 2 つの CH_2 基が O または S 原子により、および / または $-CH=CH-$ 基により置き換えられていてもよく、および / または、さらに、1～7 個の H 原子が F により置き換えられていてもよい、1～10 個の C 原子を有する非分枝または分枝アルキルを示し、

Hal は、F、Cl、Br または I を示し、

Ar は、非置換であるか、または OH、OA、SH、SA、SO₂A、Hal、NO₂、NH₂、NHA、NAA'、A、SO₂NH₂、SO₂NHA、SO₂NAA'、CONH₂、CONHA、CONAA'、NACOA'、NASO₂A'、COOH、COOA、COA、CHO および / または CN により単置換、二置換、三置換、四置換または五置換されている、5～14 個の C 原子を有する飽和、不飽和または芳香族炭素環を示し、

Het は、1～4 個の N、O および / または S 原子を有する、単環式または二環式の飽和、不飽和または芳香族複素環を示し、これは非置換であるか、または OH、OA、SOA、SO₂A、Hal、NO₂、NH₂、NHA、NAA'、A、SO₂NH₂、SO₂NHA、SO₂NAA'、CONH₂、CONHA、CONAA'、NACOA'、NASO₂A'、COOH、COOA、CHO、COA および / または CN により、単置換または二置換されていてもよく、

n は、0、1 または 2 を示す、

で表される化合物、またはその薬学的に使用し得る誘導体、溶媒和物、塩、互変異性体もしくは立体異性体、またはそれらのすべての比率での混合物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 15

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 15】

請求項 1～13 のいずれかに記載の少なくとも 1 種の化合物、および / またはその薬学

的に使用し得る誘導体、塩、溶媒和物、互変異性体および／または立体異性体、または、それらのすべての比率での混合物、ならびに、任意に賦形剤および／またはアジュバントを含む、医薬。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 6】

請求項 1 ～ 1 3 のいずれかに記載の化合物、および／またはその薬学的に使用し得る誘導体、塩、溶媒和物、互変異性体および／または立体異性体、または、それらのすべての比率での混合物の、腫瘍、腫瘍増殖、腫瘍転移および／または A I D S の処置のための医薬の製造のための使用。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 1】

請求項 1 ～ 1 3 のいずれかに記載の化合物および／またはその生理学的に許容し得る塩および／または溶媒和物の、腫瘍の処置のための医薬の製造のための使用であって、式 I で表される化合物の治療有効量が、1) エストロゲン受容体モジュレータ、2) アンドロゲン受容体モジュレータ、3) レチノイド受容体モジュレータ、4) 細胞毒性薬、5) 抗増殖剤、6) プレニルタンパク質トランスフェラーゼ阻害剤、7) H M G - C o A レダクターゼ阻害剤、8) H I V プロテアーゼ阻害剤、9) 逆転写酵素阻害剤、および 1 0) さらなる血管形成阻害剤、の群からの化合物と組み合わせて投与される、前記使用。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 2】

請求項 1 ～ 1 3 のいずれかに記載の化合物および／またはその生理学的に許容し得る塩および／または溶媒和物の、腫瘍の処置のための医薬の製造のための使用であって、式 I で表される化合物の治療有効量が、放射線治療および 1) エストロゲン受容体モジュレータ、2) アンドロゲン受容体モジュレータ、3) レチノイド受容体モジュレータ、4) 細胞毒性薬、5) 抗増殖剤、6) プレニルタンパク質トランスフェラーゼ阻害剤、7) H M G - C o A レダクターゼ阻害剤、8) H I V プロテアーゼ阻害剤、9) 逆転写酵素阻害剤、および 1 0) さらなる血管形成阻害剤の群からの化合物と組み合わせて投与される、前記使用。